

2015 年度 プログラミング I 期末試験 通知

以下の通り、プログラミング I 期末試験 (第 15 回) を実施します。必ず受験してください。

日時：7 月 22 日 (水) 13:00～14:30 (90 分)

場所：共通教育 D 棟 1F D12 番教室 * いつもと場所が違うので注意してください。

試験範囲：これまで学習した範囲 * 4 月 15 日から 7 月 15 日まで。

- ・ コンピュータシステム, 5 大機能 (5 大構成要素)
- ・ 2 進数・8 進数・10 進数・16 進数・基数変換
- ・ 補数表現・イクセス表現・シフト演算
- ・ 固定小数点表示・浮動小数点表示 (IEEE754 形式)
- ・ ブール代数・論理演算・論理回路 (記憶装置・演算装置・制御装置)
- ・ ノイマン型コンピュータ・プログラム内蔵方式・逐次制御方式
- ・ 機械語・アセンブラ言語・COMET II・CASL II
- ・ アルゴリズム・流れ図・計算量・誤差
- ・ インターネット・オペレーティングシステム・様々なプログラム言語・コンピュータの歴史
- ・ 初めてのプログラミング

備考：持ち込み禁止 * 時計と筆記用具のみ、それ以外の物はカバンにしまっておくこと。

その他の注意事項：

1. 試験に関する指示を 12 時 50 分より与える。指示に従わない場合は不正行為とする。
2. 不正行為に対しては厳格に対処する。発覚した場合、全受験者の試験を中止することもある。
3. 再試験は行わない。ただし、正当な理由により試験を受けられなかった場合には追試を行う。
4. 試験開始時刻から 30 分以上遅刻した場合、試験は受けられない。開始から 30 分間は退出不可。
5. 携帯電話等の使用を禁止する。時計としての利用も許可しない。

なお、7 月 29 日 (水) に実施される期末試験の解答と評価 (第 16 回) にも必ず出席すること。
この授業終了後は、正当な理由がない限り、成績に関する異議申し立てを受け付けません。

【警告】7 月 24 日 (金) 13 時をもって遅延提出および再提出によるレポートの受領を終了します。これ以降は、正当な理由がない限り、遅延提出および再提出によるレポートの受領を行いません。再度、レポート 01 からレポート 14 まで提出済みであることを確認し、提出していないレポートがあれば、遅延提出理由書を添付し (再提出は除く)、速やかに提出してください。

— 「2015 年度 プログラミング I」 学習支援ページ URL —
<http://kouyama.math.u-toyama.ac.jp/main/education/2015/prog1/>

文責：幸山 直人
2015 年 6 月 16 日